

住民の声

今回は、地域で頑張っている方たちの声をお聞きし、たく、「大方環境クラブ」の皆さんをお尋ねしました。

「大方環境クラブ」は、平成15年当時に「川や海が汚れて来ている。誰かが何とかしなければ・・・」との思いから、有用微生物EMに興味を持って取り組んでいた方などにより、そのEMの普及を目的に発足。現在、会員30名ほどで活動を続けている。



東日本大震災後にEMボカシ300kgを被災地に善意の支援物資として(上と下)



お茶を飲みながら来年度に向けての話し合いです

これに加え、近年、えひめA I(あい)の存在を知り、EMと同様の効果が廉価で得られることから、こちらの普及も取組み始めたとのこと。今年度は、町の協力を得て、えひめA Iの産みの親の曾我部義明氏を講師にお招きし、昨年の2月に「台所はエコの入り口」と題した講演会を、また同グループのメンバーを講師とした「えひめA Iの作り方の講習会」を、大方地区と佐賀地区それぞれにて開催するなど、活発な活動を続けている。



えひめA Iの作り方講習会を(H25年11月15日佐賀総合センター)

代表の声

私たちは、合成洗剤などの環境に悪いものを使い続けて来た結果からの反省を基に、これまでの生活様式を見直しながら、EMやえひめA Iなどを活用しての農産物の有機栽培や自然環境の浄化に取組むと共に、時間をかけて黒潮町の河川浄化や海を蘇生するなど、この環境保全を図るなど、かつての自然環境を取り戻したいと地道に活動を続けています。皆さんも、是非、一緒にやってみましょう。

編集後記

町内では、地震・津波対策の避難道や避難タワー、また大方バイパス等の大型工事が着々と進んでいます。これからの役場本庁舎、文教施設や住宅の高台移転、また駅前広場の再開発や中山間地域の活性化など、大きな課題が山積しています。このような課題を前に、本来任務はもとより、より住民の立場に立った情報発信を心がけなければと、気を引き締め直した今定例会でした。

広報委員一同

議会広報常任委員会

- 委員長 宮川 徳光
- 副委員長 藤本 岩義
- 委員 坂本 あや
- 同 下村 勝幸
- 同 宮地 葉子
- 同 森 治史

★お詫びと訂正

前回の「平成25年9月定例会議会だより」の一般質問の項目で、西村将伸議員の第一問目のタイトルが間違っていました。正しくは左記のとおりです。お詫びして訂正します。

観光振興
民間と行政の意識のずれは
意見交換を通じてなくする

◎クラブへのお問合せは

畦地 璋子代表
大方橋川79
電話 43-2329 まで